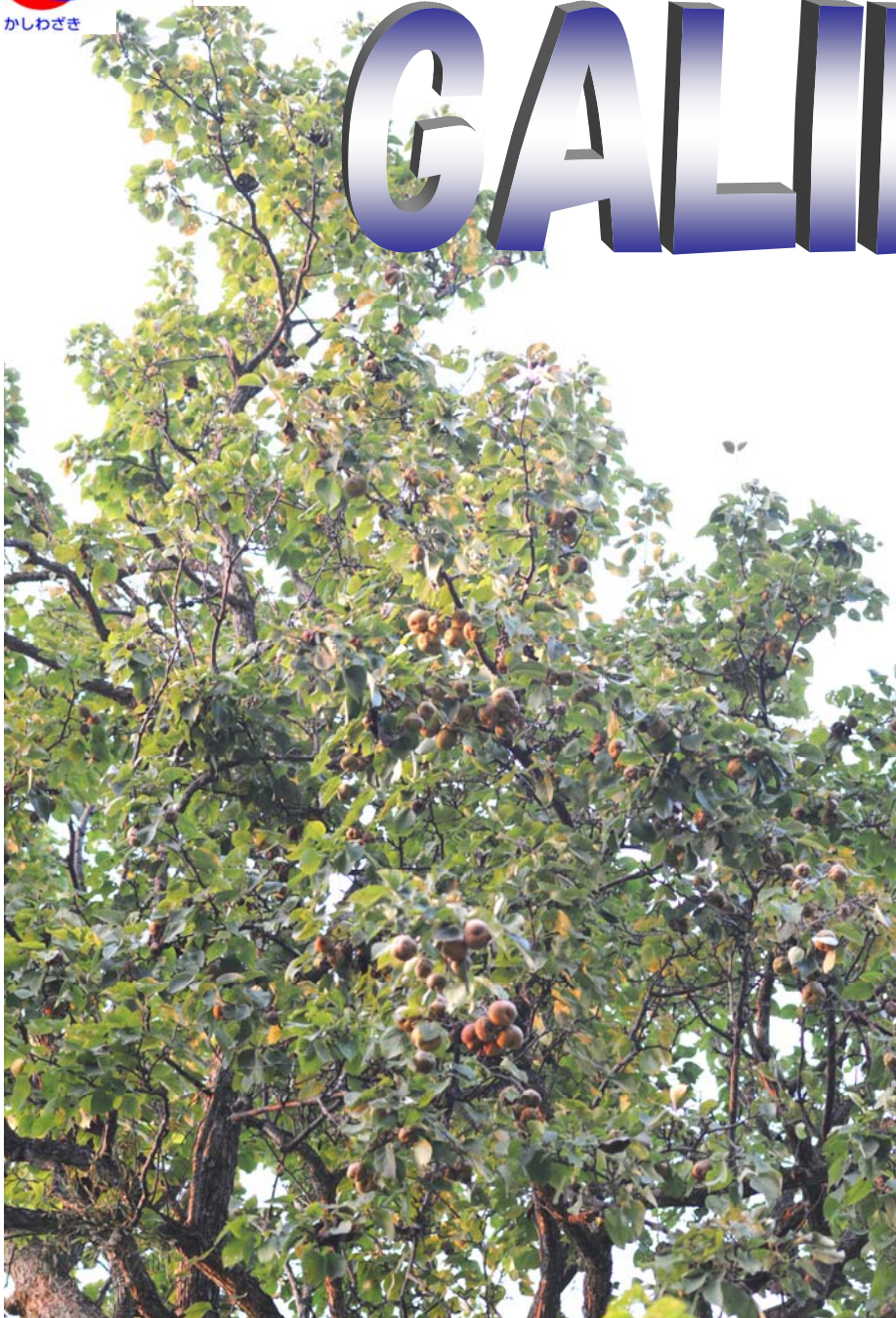




教育センター・育成センター所報

GALILEI



ヤマナシ

新しい教育 柏崎からの発信

平成 20 年 12 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シ
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

12月号 CONTENTS



○ 巻頭言 「アウニさんから子どもたちと共に学んだこと」	1
○ 教育センターたより	
● アクセス	報告！柏崎の教育を語る会 等 [教育研究班] 2
	教育情報支援システム情報 セキュリティ情報 等 [情報教育] 4
● プロジェクト K	研修会・事業の一コマ(おもしろ実験 科学の祭典 じしゃくのひみつ) 1月の研修会 等 [科学技術教育班] 6
● 心の窓	我が校の教育相談 カウンセラーとメンタルヘルス(その3) ともだち [教育相談班] 9
● プラネット	基本から学ぶ液晶プロジェクタ操作講習会のご案内 これからのオススメ教材 [視聴覚ライブラリー] 11
○ 青少年育成センター通信 文部科学省から表彰される 青少年育成全国大会に参加 青少年健全育成大集会講演会のご案内 等	12
○ 所員随想つれづれ 「 ストロークリザーブの効力 」	14
「 むかしはよかった? 」	15
○ 教育センター1月の予定	16
○ 8ヶ月間 (& 先月) の教育センター利用状況	17

○山は装いをとき眠りにつきました。かつて、全校朝会で「木々が葉を落とし凛として立っている姿が好きだ」と話したことがありました。

○「木々は、芽吹き、葉を茂らせ、自らを成長させる。また、花を咲かせ、実(種)を結び、子孫を増やすために種をばらまく。木によっては実や種を動物に与え、落ち葉は土になり山や海を肥やす。作り出す酸素は地球生命体の生命維持の源である。そして、厳しい冬を乗り切るために葉を落とす。来る春の更なる成長の準備を全て整えて、1年間にやるべき事を為し遂げて静かに眠りに就く。葉を落とし、さらけ出された樹幹は、すがすがしさと共に力強さを感じさせる」というような内容でした。

○その時期、子どもたちが自ら命を絶つ事故が報道され始めていましたので、続けて話しました。「人間も、木々と同じだ。やりたい事ややるべき事、やらなければならない事などをやり遂げないうちは死んではいけない。私も、まだまだ生きるし、皆さんは、もっともっと生き続け、全てやり遂げて、神様が迎えに来るまでは死んではならない。自分で命を絶つことがあっては決してならない」と。奇しくも拍手が湧き起こりました。拍手をもらったのは、後にも先にもこれだけでしたが…。

若 葉 抄

○「08 年の漢字」は「変」でした。天声人語(朝日新聞 12 月 13 日)には「『亦』は糸がもつれる様を表す。もつれて違う状況になるのが『変』」と説明されています。

○当市や当市教育界においては、「もつれて悪い状況」になる出来事はなかったのではないかと思います。むしろ、「復興元年」を掲げた取組は、より良い「変」に繋がっているのではないのでしょうか。

○教育面でも、学力面や生徒指導面、部活動、各種大会において、成果をあげ、大きな変化・成長を遂げてきています。しかし、震災に起因すると思われる「心の相談」も減ってはいますが皆無ではないようです。これからも復旧復興は続きます。

○新学習指導要領実施に向けた移行措置等の取組、また、当市での学区等審議会や市長公約による学校統合(H22 年度)や小中一貫教育(H24 年度)、「子ども課」事務の教育委員会への移管(H22 年度)等が計画されています。学校や当市の「変」は絶えません。より良い改善改革にと心新たにしたいものです。

○「眠り」にはつけそうにはありませんが、少し長くなった冬休みくらいは、1年の疲れをじっくり癒しましょう。(mt.jin)

アウニさんから 子どもたちと共に学んだこと

柏崎市立第二中学校

校長 高野 秀樹

(教育センター運営委員)



総合的な学習の時間（第1学年）に「未来のために今、学ばなければならないこと」という演題で、ガーナ人のアウニさんを市の「3・3・3事業」の予算よりお願いし講演会を行いました。

当日の講演会後の子どもたちの感想の一部を紹介します。

<S君>お聞きして思ったことは、アフリカのガーナでは勉強できる環境も道具もそろえられていない、そんな中でも勉強したいと思っているガーナの子どもたちを見習った方がいいということです。自分たちは二中のような快適さがそろえられているのに勉強したくないと言っている。アウニさんのお話を聞いて少しでも頑張ろうと思いました。（後略）

<Tさん>（前略）お話を聞いて、私は「めぐまれているな」と思いました。私はめぐまれている中で親に文句を言ったり、食べ物に対して「食べたくない」と言ったりしていました。「こんな自分は駄目なんだ」と改めて思い直すことが出来ました。私がこんなにわがままを言ってもいいのか、変わらないといけないと思いました。中身から変われるように努力していきたいし、改めて自分を見つめ直すことができたので良かったです。



私たちも日々子どもたちには、学ぶ意欲を喚起させたい、思いやりや感謝の気持ちで周りの人と係わって欲しいと考え取り組んでいます。この日の子どもたちの感想は、アウニさんのお話に感動し自分のできることを頑張りたいというものでした。

私は、アウニさんと講演会の前に少しお話をする機会があったので活動への思い等をお聞きしました。

彼の父と二人の兄は病気で亡くなったけど、自分は黄熱病のワクチンで助かった。これは、野口英世に助けられた命であること、そのことから日本に興味を持ったとのこと。また、資源のない日本が「なぜ」これほど発達しているのかという疑問からも興味をもったということでした。

アウニさん自身は、小学校に行かず（小学校がなかった）独学で学び、ガーナの教員大学と科学大学を卒業し大学で講師を務めていました。その後、世界の各大学の奨学金に応募し、1988年に国際大学（南魚沼市）を選んで憧れの日本で学び、その後長岡造形大学の講師を務めました。そんな時、小林虎三郎にふれ、「国が興るも、街が栄えるも、ことごとく人にある。食えないからこそ、学校を建て、人材を養成するのだ」という思いを自分のものとして活動をおこしました。故国ガーナに学校を建て、現在も、ガーナに学校を建てるEDO活動を主宰して行っているとのことでした。これからも、ガーナと日本の子どもたちのために活動を続けたいと熱く語っていました。

私は、子どもたちが世界の現状を人と人との触れあいを通して知ることの大切さと人として確固たる信念・情熱をもつことの大切さを学ばせてもらいました。

No.86	平成 20 年 12 月 19 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	---------------------	------------	--

報告！ 第7回 柏崎の教育を語る会

キャリア教育の充実に向けた学校・地域・家庭の教育力

～ 一歩進んだキャリア教育の実践のために ～

標記のテーマの下に「第7回柏崎の教育を語る会」を、教育委員の皆様や青年会議所所員、郡市教職員等約70名の参加を得て、去る11月29日に実施しました。

柏崎青年会議所理事長植木盛久氏の挨拶に続き、事例発表を行いました。ここでは、第一中学校による「職場体験」、柏崎青年会議所による「職業講話」、柏崎市商工振興課と柏崎小学校による「トレーディングゲーム」についての具体的な発表がありました。これらの発表を受け、7班に分かれてのグループディスカッション、その様子発表を含んだ全体会を行い、最後は、教育長小林和徳氏の挨拶によりしめることができました。

この度の会において次のようなことが見えてきました。

- 子どもに働くことや生きることの意義の自覚化を図る。
- 学校・家庭・地域における日常生活や活動等について、キャリア教育と関連付けた取組を強化する。
- 個性を発揮した将来の職業実現に向けての自己課題と実現のための方法を明確にし具体的な取組を促す。
- 教育目標や全教育活動とキャリア教育との関連を明確にし、子どもの実態把握に基づいて問題点や解決策を明確にし、実践の充実を図る。
- 「柏崎の教育3・3・3運動」をキャリア教育と関連付け、市全体としての土台作りを行い一層の推進を図る。
- キャリア教育を支える環境等を整備し開発する。
- 地域社会の継承・発展を意識したキャリア教育の充実を図る。

参加者の感想から

- 青年会議所を中心として職場体験の受け入れや講演の講師派遣など、素晴らしい実践をしていることを実感しました。また学校教育の中に3・3・3運動を取り入れていることでキャリア教育におけるベースを育てようとしていることがよく分かり、しっかり進めていかなければと思いました。
- 学校現場以上に行政や青年会議所の方々が一生懸命に研修され、支えてくださっていることに感動しました。とても心強く感じました。学校現場も負けてはいられないという思いを強くいたしました。
- 「若者の流出」に危機感をもっており、急な参加を認めていただき感謝いたします。1年前実施された「若者の住みたい度調査」によれば、小学校低学年の8割が「柏崎が好き」なのに、高校生では2割になり、大半が大都市に出ていってしまう現実があります。地域社会の存続・発展を意識したキャリア教育が模索される必要性を感じました。





- 職場での体験だけでなく、地域活動などに積極的に参加させ、そこで充実感などの経験をさせることもキャリア教育になると感じました。
- 子どもたちにいかに自己肯定感をもたせるのか、夢や希望をもちながら忍耐強い子どもに育てるにはどうすればいいのかなど、自分への問題提起の時間となりました。
- 子どもたちに夢を持たせることはもちろんだが、社会の仕組みや厳しさを伝えていきたい。
- PTA活動において、「親育ち」というテーマで活動しているが、家庭内で仕事をしっかりと与えることが、その後の「働く」意義につながるということを、是非伝えてほしいと思う。
- 学校は子どもたちだけではなく、親にもキャリア教育の重要性を伝えていく。職場体験時に、会社だけでなく地域や家庭で自分が役に立っている経験をさせておく。企業も従業員に対して、キャリア教育の目的や考え方を伝えていくことが大切であると考えます。
- 近年は青年会議所の参加人数、発言が多く、教員の側に元気がないように感じていましたが、今回は教員の方々の参加、発言が多かったのではないのでしょうか。今後さらに若い教員がたくさん参加してくれるとよいと感じました。
- 中学3年間を通して系統的に続けていくことが大切、例えば授業、学活、行事のすべてにおいてキャリアの視点が盛り込まれるとスッキリ取り組めるのではないか。
- キャリア教育の充実のために“体験だけでは意味がないが、体験がなければ意味がない”ということを感じた。体験のよさとは何か、失敗から立ち上がること、体を動かすことで自己有用感を高められること、社会に今の子どもの姿を知ってもらうこと…これらの意義を大切にしたい。



子どもの教育に直接携わっている教員と企業（工場、商店等）等、立場の異なる人たちが一堂に会しての話し合いであり、それぞれの子どもへの関わり方（指導や支援、ボランティア等）や考え方が互いに理解し合えたことも成果として述べられていました。

今回の語る会で確認することができたことにつきまして、学校・家庭、そして、商店・企業等を含んだ地域の連携・協働により具体的に取り組を深めていきたいものと思っています。ご協力をお願いします。

土曜日の午後にもかかわらずご参加いただきました多くの皆様方に、厚くお礼申し上げます。

📖 講習会テキストの新規登録

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル／備考
H20.11.26	基礎から学ぶ ICT 活用 (スクーリング3)	基礎から学ぶ ICT 活用 4.pdf	テキスト第 2 版(H20.11.26)
H20.12.05	記録型 CD・DVD の活用	記録型 CD・DVD の活用.pdf	テキスト第 5 版(H20.12.05)
		HPB でアルバム作成.doc	ホームページビルダーで簡 易アルバムを作成する手順
		フォトストーリーでムービーアル バム作成.doc	Windows XP や Vista なら無 料で使えるフォトストーリー で、写真から動きのあるスラ イドショーを作成する手順

■ ■ ■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■ ■ ■

📖 1 月に実施される情報関連講座のご案内

◆H21.01.15(木) プロジェクタの活用

パソコンやビデオ、DVD プレーヤなどとプロジェクタをつないで使用するための基礎知識とコツについて学習します。以下のキーワードについて、「説明できない」、「自分ではできない」という方はぜひ受講してください。また、高機能な実物投影機のように利用できる「マルチプロジェクションカメラ」の使い方についても紹介します。

パソコンとプロジェクタの接続、ビデオカメラとプロジェクタの接続、デジタルカメラとプロジェクタの接続、DVD プレーヤとプロジェクタの接続、アナログ RGB、DVI 端子、コンポジット端子、S 映像端子、RCA オーディオ端子、キーストーン、ANSI ルーメン

<補足>この講座は視聴覚ライブラリとの共催のため、一般の受講者も受け付けています。あらかじめご了承の上、ご参加いただきますようお願いいたします。



◆H21.01.23(金) 基礎から学ぶ ICT 活用⑤ (スクーリングその4)

メールによる情報交換や訪問支援を織り交ぜながら、年間を通してパソコンやネットワークの基本的な活用方法について学習するコースの5回目です。

■ ■ ■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■ ■ ■

📖 バックアップ取っていますか？



先月、主にバックアップ用途で使用していた外付ハードディスク(購入1年未満500GB)が突然読めなくなっていました。古い情報やシステムのバックアップを定期的に取得していたものの1つで、より重要なデータは他の機器に二重にバックアップしていましたので、すぐに業務に影響が出るようなことはなかったのですが、結局修理に出して新しいハードディスクとなって帰ってきました(当然中のデータは空です…)

皆さんは、重要なデータのバックアップはどのようにしているでしょうか。今年も残すところあとわずかとなりましたが、この1年で個人の PC のハードディスクが読めなくなったという相談が6件、USBメモリが読めなくなったという相談が3件あり

ました。いずれのケースも、マーフィーの法則的に表現すれば「**大事なデータが入ったハードディスクや USB メモリが壊れるとしたら、最も壊れてほしくない時に壊れる**」という感じです。

私の場合もそうだったのですが、ハードディスクやUSBメモリは特別なきっかけもなく(たとえば落としてしまったとか・・・)、何の前兆もなく、新しいか古いかによらず、壊れるときは壊れます。そういうものだと思って使っていないと痛い目にあうかもしれません。最低限、以下の3点を意識しておきましょう。

■PC の購入時とソフトウェアのインストール前など、正常に動いている状態でハードディスク全体のバックアップを取っておきましょう。

(ハードディスクやメモリの価格は驚くほど安くなりました。バックアップ用に用意しておきましょう。)

■なくなると困るというデータは必ず物理的に異なる2個所に保存しておきましょう。

(たとえば、PC 内+USB メモリや CD-R、PC 内+共有フォルダ など)

■外付ハードディスクや USB メモリを外す時には、必ず正しい手順を踏みましょう。

(いきなり抜くなんて以ての外！)

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12月10日付で12月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いいたします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能をONにする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS08-071 Windows の重要な更新	GDI の脆弱性により、リモートでコードが実行される (956802)	Windows 2000, XP, 2003 Server, Vista, 2008 Server	Win	緊急
2	MS08-072 Word の重要な更新	Microsoft Office Word の脆弱性により、リモートでコードが実行される (957173)	Word2000,XP(2002), 2003,2007 など	Office	緊急
3	MS08-073 Internet Explorer の重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (958215)	IE 5.01, 6, 7	Win	緊急
4	MS08-074 Excel の重要な更新	Microsoft Office Excel の脆弱性により、リモートでコードが実行される (959070)	Excel2000,XP(2002), 2003,2007 など	Office	緊急
5	MS08-075 Windows の重要な更新	Windows Search の脆弱性により、リモートでコードが実行される (959349)	Vista, 2008 Server	Win	緊急
6	MS08-076 Windows および Media Player の重要な更新	Windows Media コンポーネントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (959807)	Windows 2000, XP, 2003 Server, Vista, 2008 Server Media Player6.4	Win	重要
7	MS08-070 Office と開発ツールの重要な更新	Visual Basic 6.0 ランタイム拡張ファイル (ActiveX コントロール) の脆弱性により、リモートでコードが実行される (932349)	Visual Basic 6.0 ランタイム拡張ファイル, Visual Studio.NET 2002,2003 など企業向け製品	Win	緊急
8	MS08-077 Share Point の重要な更新	Microsoft Office SharePoint Server の脆弱性により、特権が昇格される (957175)	Office Share Point Server 2007 など企業向け製品	Win	重要

Win は Windows Update または Microsoft Update から更新を実行します。

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

研修会・事業の一コマ

・・・ 研修会の様子&参加者の声など ・・・

○ 生活科理科研修会 「おもしろ実験・工作②」 (11月20日実施)

◇内 容 生活科や科学クラブに即活用できる、実験や工作の実習を行いました。
科学の祭典のブースを運営してくださるスタッフの先生方には、ブースの一部の予備実験としても行っていただきました。

○ ペットボトルトルネード

…ペットボトルを2個とゴムホースと金属ワッシャー使って、水竜巻を作りました。

○ 過飽和化学カイロ

…酢酸ナトリウムと少量の水を用いて、過飽和状態から結晶化するときの発熱を利用したカイロを作りました。

○ 空気砲

…段ボールに煙を充満させて、両側からタイミング良くたたくことで空気のリングを発射する体験実習でした。

○ 電気をためよう

…手回し発電機を使って食塩水を電気分解し、貯めた電気を使ってみました。また、静電気をライデンびんに貯めて、貯めた静電気を使ってみるものと比べました。

○ まゆだまころりん

…金属球やビー玉をアルミホイルで包んで、空き缶の中に入れて振るだけでできる、不規則な動きをするまゆ玉づくりを行いました。

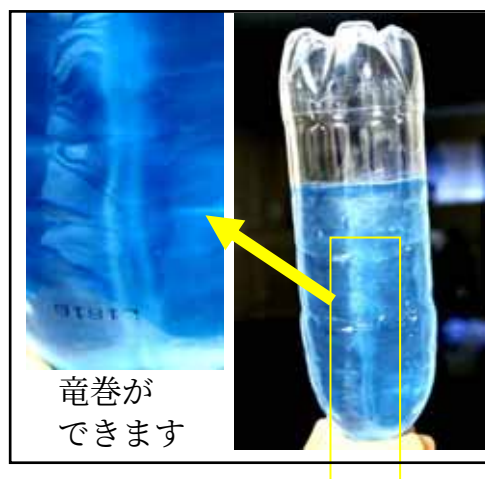
○ ふしぎな絵

…工作用紙とチャック付きポリ袋に絵を描き、水に沈めたときに工作用紙の絵が消える現象を体験しました。

○ ふしぎなスライム

…フォトクロミック色素を混ぜ込んで、紫外線が当たると色が変わるスライム作りを行いました。

※ 学校等で実施される場合、興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



○ 青少年のための科学の祭典2008 柏崎刈羽大会 (11月22日実施)

◇会場 新潟工科大学

◇概要 実物に触れ、現象の不思議さに心動かされ、「なぜだろう?」「どう説明したらいいのだろう?」と思いをめぐらせることは、学びの出発点となります。「あれっ、不思議だな…」と、過去に体験したことのある現象だからこそ、学問としての科学を学んだときに、「ああ、そういうことだったのか」と、実感を持った理解ができるのではないのでしょうか。

今年で17年目を迎える「青少年のための科学の祭典」は1992年に始まりました。柏崎刈羽の子どもたちに、科学実験やものづくりなど、科学の魅力を体験できる機会を提供するために毎年2回実施しています。

この秋に行われた科学の祭典柏崎刈羽大会は、新潟工科大学に会場を移して12回目の開催となりました。スタッフ総勢100名余により、17ブース(新潟工科大学から4ブース、小・中学校の先生方から7ブース、5つの企業や団体から6ブース)もの出展がありました。

来場者数は1,500名にもものぼり、科学の不思議さ、面白さを満喫し、ものづくりのすばらしさを実感した子どもたちの、真剣なまなざしと笑顔に満ちていました。

ブース運営のスタッフに自ら進んで申し込んでくださる柏崎・刈羽の先生方の意識の高さを実感した祭典でもありました。一般にこのようなイベントでは、理科に携わる方々への個々の依頼によって趣旨に賛同してもらうといったことがどうしても必要になります。にもかかわらず柏崎刈羽では、休日も厭わず、子どもたちのためにと、定員を超えるほどのスタッフの申込がありました。

また、新潟工科大学の関係者の皆様や学生さんたち、柏崎市内の企業や同好会の方々の、休憩の時間すら惜しんで子どもたちに語りかける姿に、柏崎を愛する子どもたちを育てたいという熱意が伝わってきました。

このような皆さんの熱意に支えられ、柏崎市立教育センター 科学技術教育班はこれからも、柏崎刈羽の子どもたちに、科学の種をまき続けます。



どうして
人工イクラが
できるのかな

きれいな
海藻でしおり
ができたよ



本物そっくり。
電車は
力づよいね



空気砲の
渦を
キャッチ!?



え〜っ!
塩水とえんぴつ
に電気が貯まる
の?

空きかんに入
れて振るだけ
で、「まゆ」が
できたよ。



○ 小学校学年別研修会 **第3学年「じしゃくのひみつ」** (12月5日実施)

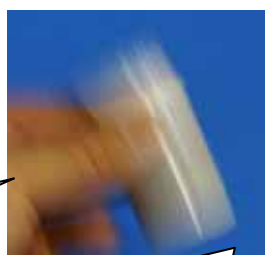
◇内 容 磁石につくもの・つかないものを調べる実験や、明かりがつくもの・つかないものとの比較、磁石そのものの不思議を体験する実験などを通して、磁石の性質についての見方や考え方を養い、実感を伴った理解を促す指導について研修を行いました。



フェライト磁石を粉々にすると、磁石の本質がつかめます。(小さな磁石の集合体であるイメージ)



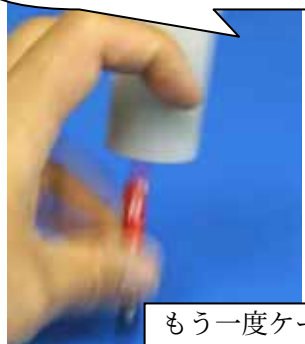
ケースに、磁石を粉々にしたものを入れ…



ケースを振ってやると、中の細かな磁石の向きはバラバラになり、クリップはくっつきません。

ところが・・・

外から他の磁石で軽くたたくと、中の細かな磁石の向きが揃い、クリップがくっつくようになります。



もう一度ケースを振ると…?

異なる極があることに気づかせるひと工夫



くるっと変身

小さな磁石をテープで包むだけです。

1月のおもな行事等

○ 小学校学年別研修会 **第5学年「おもりのふれ方としょうとつ」**

◇日 時 1月6日(火)

◇会 場 教育センター 科学実習室

◇内 容 振り子実験器や衝突実験器の製作、見た目は同じでも周期の違う不思議な振り子による問題提起の仕方など、主に振り子と衝突の実験を行う際のポイントに関する研修です。

○ 小学校学年別研修会 **第4学年「もののあたたまりかた」**

◇日 時 1月14日(水)

◇会 場 教育センター 科学実習室

◇内 容 振り子実験器や衝突実験器の製作、見た目は同じでも周期の違う不思議な振り子による問題提起の仕方など、主に振り子と衝突の実験を行う際のポイントに関する研修です。

○ 教職員理科研究発表会 (柏崎市刈羽郡学校教育研究会主催)

◇日 時 1月16日(金)

◇会 場 教育センター

◇内 容 理科の実践発表
研修「新学習指導要領の移行について(仮題)」

○ 冬の星空観測会

◇日 時 1月30日(金)

◇会 場 柏崎市立博物館

◇内 容 プラネタリウム鑑賞と講義・実天観測(天候次第)

○ 他…要請による各種研修会

平成20年12月19日

心の窓 (教育相談班だより)

No 1 1 2

柏崎市立教育センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL (代表) 23-4591
(Fax) 23-4610



我が校の教育相談

柏崎市立瑞穂中学校

当校は、刈羽三山の眺望鮮やかな市内東部に位置し、中通、日吉、槇原の三小学校区からなっています。教育目標の「いきいきと 心豊かに みずほ文化を創造する生徒」にもあるように、平成7年の開校以来、生徒たちは「みずほ文化」の創造者となるべく、勉強に部活動にと学校生活に一生懸命に取り組んでいます。しかし、近年の複雑な社会事情や家庭環境の影響、人間関係に起因する心の問題を抱える生徒が見られることも現実です。教育相談は、そのような生徒たちが自らの問題に気づき、自己変容を支援する教育活動として位置づけられています。

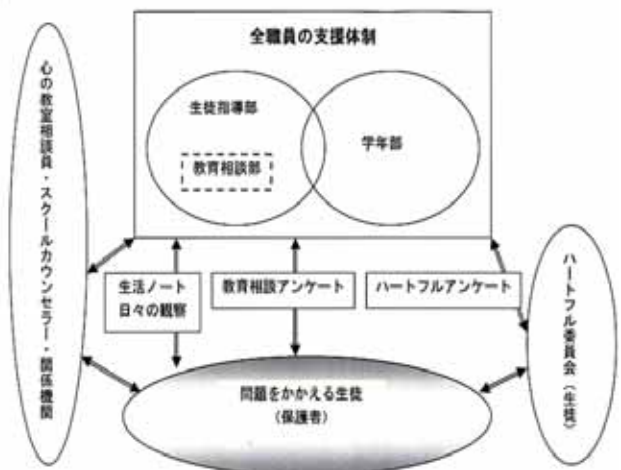
教育相談の場は、年に2回(5月・11月)時間を確保して行う定期相談と、生徒の様子から必要に応じて行うチャンス相談があります。子どもたちの気持ちをみとめる方策として、定期相談の前の教育相談事前アンケート、いじめ防止にかかわるハートフルアンケート(5月・8月・11月)、毎日の生活ノートの点検、生徒の言動や行動の変化の観察などが挙げられます。特にチャンス相談では、日々の生徒との触れ合いの中から、生徒の小さな変化や、学級や学年での出来事などをきめ細かく受け止め、学級担任や学年部を中心に場面を逃さない相談を心がけています。

相談を行うのは主に学級担任ですが、抱える問題に応じて、学年部職員や部活動顧問など他の職員があたっています。全職員が各々の立場でかわれるように、生徒指導部を中心に情報交換をして共通理解を図り、学校全体での体制づくりを進めています。また、心の教室相談員やスクールカウンセラーとも密に連携を取り、子どもたちへの対応のサポートをしていただいています。

また、相談時に現象的な問題の面にのみとらわれず、生徒の心に寄り添うことができるように、教職員の聴く姿勢や人間関係調整能力の向上を目指した職員研修を設定しています。

今後は、生徒がより相談しやすい支援システムの構築を図っていきたいと考えています。

(文責 塩浦 栄子)



<教育相談班 1月の予定>

* カウンセリングルーム

いろいろ体験グループ

- (小学校A) 9日(金) 16:00~17:00
- (小学校C) 9日(金) 16:30~17:30
- (小学校B) 23日(金) 16:30~17:30
- (中学校1) 23日(金) 18:30~20:00
- (中学校2) 30日(金) 18:30~20:00



* ふれあいルーム

- 9日(金) 通級開始
- 13日(火) 保護者面談
- 14日(水) //

<カウンセラーとメンタルヘルス> ～その3～

「 孤 独 」



今回は、カウンセラーにとっての精神的苦しさの最後の3番目である「孤独」について述べる。

孤独

カウンセラーは体制や組織集団の側ではなく、専ら個人の側に立った援助を行う存在であるから、世間一般の価値観とは別の価値観を守り続けなければならない。例えば、「不登校は長い目でみれば決して無意味ではない貴重な体験である。」「病気や障害を経験したからこそ、その人の人間性の幅が広がる。」「症状は、全て消去すべきものではなく、その人にとっての“守り”であり“支え”でもある。」等である。世間一般では忌み嫌われたり悪しき事とされている事柄に対して、カウンセラーは、クライアントに寄り添いつつ、肯定的な意味を共に見いだそうとする。

そうすると、カウンセラーが世間一般や周囲から理解されないこともある。非常識だと非難されたり、変人だと思われたり、場合によっては悪人と見なされる。

例えば、担当しているクライアントのことで、保護者や担任教師から「カウンセリングをしても一向に治らない。このままの状態が良いと思っているんですか。」などと問い詰められるようなこともある。

カウンセラーはこのような種類の孤独に耐えなくてはならない。一定の常識をわきまえ、法令を遵守することは当然の義務ではあるが、それとは別に、クライアントが一般常識からずし外れていることを許容しなければならない。その意味では、カウンセラーは、組織の人間でありつつも少しだけ足を抜いて位置付いたり、異端的要素を残していた方が良い。なぜなら、「人間の精神的幸福」というものを複眼でとらえることが大切だからだ。

差別され排斥されて当然の人などというのはこの世には存在しない。クライアント自身が、変わりたい、理解されたい、治りたい、と思ってカウンセラーのもとへ訪れてきている以上は（たとえどんな非行少年だろうと虐待する親だろうと）、カウンセラーはクライアントの尊厳を守るべきである。時には多数派に添わずに孤独になることも覚悟の上である。（文責：小林東）



ともだち



不登校の子ども達を一番勇気づける存在は「ともだち」なのかもしれない。ふれあいルームには私たち指導員がいて、学校に行けば先生がいて、家に帰れば親がいて、家族がいて。その誰もが言っても聞かなかったことをともだちがふと「～したほうがいいよ」とひとこと言っただけで「やったほうがいいかな、、、」と考え始めたりする。

先日あったふれあいルームの保護者会で出たお話。「子どもたちは、一人よりも二人、三人で足並みを揃えてステップアップする」ということ。ふれあいルームにいるとたびたびそういう場面に遭遇する。数ヶ月に一回しか通級してこなかった子が、ともだちができた日をきっかけにほぼ毎日通級してくるようになったり、しょっちゅうケンカしあっていた子同士がだんだんお互いに気遣えるようになったり、ともだち同士、足並みを揃えて学校に復帰したり。

同じ境遇の人間だから、素直に受け入れられることや勇気づけられる事がある。子どもにしかできないことだ。ともだちってすごい。学校が持っている集団生活の意義もきっとそういうところにあるのだと思う。ふれあいルームも然り。

大人が子どもに「ともだちを作れ」と言ってできるともだちはいない。ともだちは自然に一緒にいたり、話し掛けてみたりして自分でつくるものだ。大人にできるのは「そういう環境」を用意してあげること。不登校になってしまった子にとってふれあいルームは「そういう環境」であり続けたい。

（文責 ふれあいルーム指導員 寺澤朋法）

URL <http://kedu.kenet.ed.jp/> から教材検索できます (ゲストをクリックして「視聴覚教材 DB」を選択)
E-mail kasikari@coral.ocn.ne.jp 945-0833 柏崎市若葉町 2-31 TEL・FAX 0257-23-1168

機械操作が苦手な人も大丈夫！

基本から学ぶ

液晶プロジェクタ操作講習会のご案内

ビデオやDVDの映写会だけでなく、プレゼンや学校の授業でも大活躍の液晶プロジェクタです。
基本から学び、さまざまな活用方法とコツをつかみましょう！！

日 時 1月15日(木) 15:00～17:00
場 所 教育センター
受 講 料 無 料
定 員 20名(先着順)



※定員に余裕がありますのでお誘いあわせのうえご参加下さい。

申込み方法 「広報かしわざき 12/20号」をご覧のうえ、視聴覚ライブラリーまで
お電話にて申込みください。(TEL 23-1168)



これからのオススメ教材



		管理番号	タイトル	分	メディア
学 校 教 育	保 健	V09-137	ぎもん・しつもん！かぜ・インフルエンザの予防	21	ビデオ
		V09-083	小学校保健シリーズ どうして病気になるの？	14	
	特 活 ケータイ いじめ	D15-006	ちょっと待って、ケータイ-加害者にも被害者にもならないために-	30	DVD
		D15-004	長編アニメーション「ハードル」	90	
		V14-046	中学生のいじめを考える 被害者・加害者・観衆・傍観者	19	
		V14-030	いじめ 14歳のメッセージ	25	
	人権同和 教 育	V15-063	ドキュメンタリー「結婚」	33	ビデオ
		V15-030	にんげんの詩(アニメ)	26	
		V15-031	きずな ～にんげんの詩パート2～(アニメ)	30	
ア ニ メ ー シ ョ ン	お正月	V40-051	にいがたの昔ばなし7 第13話「大年の客」ほか	23	DVD
		V40-057	にいがたの昔ばなし13 第31話「初夢」ほか	35	
	冬 のおはなし	V40-040	わらぐつの中の神様	24	
		V40-033	カワウソ親子の冒険(バリアフリー版もあります)	19	
		D40-002	アニメ ハチ公物語	18	
		040-095	手ぶくろをかいに	15	
		040-123	ミッキーマウスの楽しい冬 クリスマスやお正月のお話	10	

今年も視聴覚ライブラリーをたくさんご利用いただき、ありがとうございました。

視聴覚ライブラリーは **12月27日(土)～1月4日(日)まで休館** です。

年末年始のご利用は早めに予約をお願いします。

来年も良い一年になりますように・・・

視聴覚ライブラリー



育成センター通信	0812	柏崎市青少年育成センター 〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp
----------	------	--

1月の予定

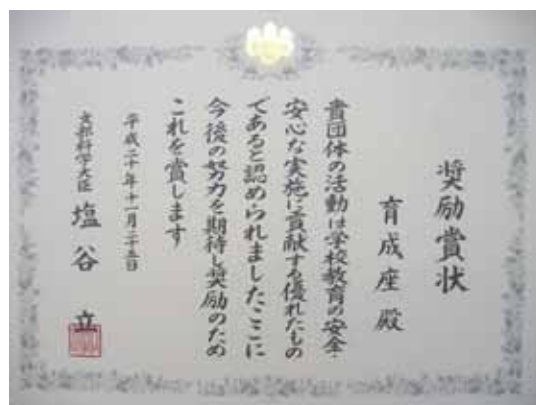
日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
9	金	昼間育成活動	28	水	昼間育成活動
13	火	夜間育成活動			
17	土	青少年健全育成大集会（市民プラザ）			

文部科学省から表彰される！

～劇団「育成座」の日頃の活動が認められる～

去る11月25日（火）に平成20年度学校安全ボランティア活動奨励賞を文部科学省から授与されました。旧文部省庁舎で行われた表彰式には、育成座座長の田中康夫さんが出席して栄えある奨励賞を受けました。これは、劇団「育成座」の長年にわたる青少年健全育成の啓発活動が高く評価されたものです。新潟県内からは、当育成座の他に2団体が表彰されました。

なお、表彰状は当センターの事務室に掲げておきますので、センターにお越しの折にご覧下さい。



街宣活動

11月は、全国青少年健全育成強調月間でした。その一環として市青少年育成センターでは、11月26・28日の両日街宣車を使って市民のみなさんに青少年の健全育成の重要性を呼び掛けました。

青少年育成全国大会に参加

平成20年11月27・28日 日本教育会館他

去る11月27・28日の両日、東京・日本教育会館で総理府主催の青少年育成全国大会が開かれました。大会のシンポジウムで当市青少年健全育成市民会議の山崎高美会長は、パネリストとして出席しました。山崎会長は、当市民会議で取り組んでいる「ノーテレビ・ノーゲーム」への挑戦について実践発表を行うとともに他のパネリストとの意見交換を行いました。この席上、当市民会議で取り組んでいる実践が高く評価されました。

このシンポジウムに先だって開会式典で総理府特命担当大臣の小淵優子氏からお祝いの言葉がありました。



祝辞を述べる小淵優子大臣



シンポジウム会場にて

青少年健全育成大集会講演会

演題 「携帯電話のメディア特性と子育て教育」

— 学校と家庭の役割 —

ネット社会に潜む、インターネット・携帯電話の危険性から青少年を守り心豊かで健全な青少年を育成するために保護者、教育関係者そして一般市民の皆様、ケータイ時代の子育て教育について一緒に考えてみませんか？



下田博次さん

- ◇ 講師 下田博次さん（NPO青少年メディア研究会理事長、群馬大学特認教授、群馬県NPO活動委員会会長・環境NPO「富士山クラブ」理事・警察庁「インターネット利用に関する調査研究会」座長等を歴任し現在に至る。愛知県出身）
- ◇ と き 平成21年1月17日（土）午後1時30～午後4時
- ◇ と ころ 市民プラザ（東本町1 TEL20-7500）
- ◇ 問い合わせ先

市青少年健全育成会議事務局（市青少年育成センター）

Tel 20-7601 Fax 23-4610

ストロークリザーブの効力

教 育 研 究 班
指導主事 矢沢 欣也



私の父は、医者通いが大好きである。たいしたこともないのに何か体に異変があると、すぐさま医者に行く。そのため父親の薬箱の中には、何種類もの薬が入っており食後に取り出しては飲んで安心している。私を含め家族は、よく間違わないなと思ったり、よく副作用を起こさないなと思ったりするほどである。とにかく薬が好きであり、そのお陰なのかどうか？現在も元気である。

さて、「プラシーボ効果」というのをご存じでしょうか。たいした薬でなくても「これは権威のある先生がくれた薬である」と思うと病氣も治ってしまうという現象があるらしい。（人にもよると思うが、私の父はまさしく当てはまる。）逆に、いくらよい薬でもたいしたことのない医者からのものだと思うと効き目が少ないこともあるらしい。一般的に、人は暗示にかかりやすいと言われる。人は思い込むとそのようになってしまうことがあるので、自分にとっていいように思うことが大切である。また、逆に自分の行動や言葉が人に与える影響を考えたならば、私の父の「薬」のように、特に子ども達には「よい言葉」をたくさん使っていきたい。

ところで、小林正観著書「100%幸せな1%の人々」によれば、日常で「つらい」「悲しい」「苦しい」「悔しい」と言い続けると、それを言う人も聞く人もどんどん元気を奪われていき、それを続けると精神力も集中力も奪われ、しまいには病気になる。かぜをひきやすくなるのだという。逆に、「嬉しい」「楽しい」「おもしろい」「幸せ」「ありがとう」と笑顔で毎日毎日言い続けたなら、それを言う人、聞く人のどちらもどんどん元気になる。そして、風邪をひくことが少なくなり、ひいても早く治るようになるそうである。納得である。さらにおかしいのは、毎日、「嬉しい」「楽しい」「ありがとう」と笑顔でいて、人を恨んだり憎んだりせずに言い続けている人は、「お前には苦労がないのか、バカ。」と言われ、ということで「バカは風邪をひかない」のだというらしい。

それから、何人かの臨床心理士の先生方から「プラスのストロークを大切に」という話を耳にしたことがある。プラスのストロークとは、スキンシップ・褒める・肯定的な言葉・微笑む・大切にすること・愛する等の行為や言葉である。逆に、マイナスのストロークは、身体的な虐待だけでなく、けなす・怒られる・否定される・無視される等である。例えば、母親が赤ちゃんに対して行うプラスのストロークは、その子の成長に大きく影響を与えることは、昔からも言われてきたことだと思うが、プラスのストロークを欲するのは、大人にとっても同じである。また、「ストロークリザーブ」という法則があって、普段から相手にプラスのストロークを出していると相手の心にプラスが貯まり、少々失敗しても許してもらえるという。しかし、逆にマイナスを貯めていると、たいしたことのない失敗でもここぞとばかりに攻められるというのだ。なんだか経験があるような気がする。（特に妻から）

今、世の中では、物質的・情動的な豊かさや生活の利便性の向上がどんどん進んでいる。また、何か批評的であり、ともすると失敗した人を容赦なく叩くというような傾向が、社会全体にあるようにも思う。大人の社会が、○か×かのストレス社会に入っている。視点を変えれば、子どもたちの姿は、良いも悪いも社会の鏡である。地域の子どもの姿は、地域の大人たちの鏡である。さて、柏崎には、3・3・3運動があるが、その輪を広げ、私たち大人が手を取り合い、明るく元気に、相乗効果でプラスの「ストロークリザーブ」を増やしていけたらと願う。

むかしはよかった？

ふれあいルーム指導員
寺澤 朋法

テレビをつけても明るい話題が少ない。不景気の話や殺人事件ばかり。明るい話題と言えばスポーツに関するものくらいで、ニュースや情報番組は、悪い出来事を伝えるためにあるのかとさえ思ってしまう。いきいきとしているのは、得意そうに話す画面の中のコメンテーターくらいなものだ。暗いニュース番組の後には、現実を忘れさせてくれるお笑い番組が続く。CMが入れば保険屋か金融会社。毎日わりと忙しく過ごしているから、テレビを見ている時間なんてほんとに少ないけれど、テレビを消した後に残るのは、むなしい苦笑いだけだ。などとニヒルな文章を書いてしまう。

事件が起これば犯人の生育歴が暴かれて、家庭内のコミュニケーションが不足だったとか、社会に恨みをもっていたとか言われる。ニートやひきこもり、DVやモンスターペアレント、、、。社会問題のキーワードが次々と生み出されるたびに「むかしはこんなじゃなかった。」「わたしが小さい頃は、..」と話が始まる。うちの親もテレビを見ながら良く言うし、三十そこそこの青二才である私でさえ「俺が中学生の時は、..」とついつい語ってしまう。

「〇丁目の夕日」を見ながら、「昔はねえ、物がなかったけれど、人と人との関わりがあって温かったんだよ。」と昭和ロマンに浸る。でも、ほんとにむかしはよかったの？ほんとにむかしの人は今よりよかったの？社会もよかったの？とも、思うのだ。

問題児が出ると、親の教育が悪かった、愛情が足りなかったという。親を育てたのはその親だし、その親を育てたのもそのまた親だ。学校教育だってそうだ。今の先生を育てたのは、むかしの先生だ。いじめにしたって色んな人の自叙伝を見れば、昔も結構ひどい。「昔はいじめがあっても乗り越えた」と語るのは、乗り越えて成功した人だけだ。乗り越えられなかった人だってきっと沢山いたはずだ。むかしがほんとに良かったのなら、今は無くなっている問題もあったのではないかとと思う。いつだったか歌手（タレント？）の泉谷しげるが「日本がよかった時代なんてあったのか？」と言っていたのを思い出す。

などとまたニヒリズムに浸かる。ここまで来ると好きでやっているとは思えない。どうやったら世の中明るくなるんだよ！と考える。大人が希望を持たないでいて、「子どもに夢を持って」といっても酷な話だ。だが私にリーマンブラザーズもビック3も救えないし宗教問題、人種問題に終止符を打てるはずもない・・・・・・はたと気づく。

むかしも今も良い時代と言えないかもしれないけれど、いつも「良くしよう」とはして来たはずなのだ。きっと人間がおサルになるもっと前の時代から、そう思ってきたから滅びないで進化してきたのだ。話が壮大になってきたが、やはり今より良くしたいという現実と理想の狭間に人間の活力が生まれてきているように思う。とすればですやダンナ、今のひどい現実など寧ろメラメラと活力のファイヤーが爆発しても良いのではないですか？それはママシドリンク何本分ですか？と、酔っ払いの談義の様になってきたのでこの辺で閉めます。元気出していきましょう♪♪

日	曜日	研修・センター行事・会議	学校訪問	出張・その他関係事業
1	木			
2	金			
3	土			
4	日			
5	月	所内会議 13:00～		御用始め 賀詞交換会
6	火	科・小5「おもりのふれ方としょうとつ」15:00～		*WISC-IIIミニ実技講習(多目)13:00～
7	水			
8	木			
9	金	ふ・ふれあいルーム通級開始 相・いろいろ体験グループ(小A/C)16:00～		
10	土			
11	日			
12	月	成人の日		
13	火	ふ・ふれあいルーム保護者面談(～14日)	米山小学校訪問(滝)15:30 内郷小学校訪問(寺)15:30	*小学校長会(多目的研)13:30～
14	水	研・「発達障害児童生徒への通常学級における支援」15:00～ 科・小4「もののあたたまりかた」15:00～		就学相談 13:00～ いなほの会相談会(小林)19:00～
15	木	情ラ・校務の情報化研修「プロジェクタの活用」15:00～	南鯖石小学校訪問(滝)15:30 石地小学校訪問(寺)15:30	出・精神医療センター(小林)13:00
16	金	科・市教職員理科研究発表会 PM		出・PTSD研修会(長岡・小林)10:00～
17	土			青少年健全育成大集会(市民プラザ)PM
18	日			
19	月			
20	火		鯖石小学校訪問(滝)15:30	
21	水	科・要請(半田小学校科学クラブ)PM		
22	木	研・情報モラル指導計画作成会議 15:00～	高柳小学校訪問(滝)15:30	出・県セン代表者会議(所長・植木)
23	金	情・「基礎から学ぶICT活用⑤」(スクーリング)15:00～ 相・いろいろ体験グループ(小B:16:30～、中学①:18:30～)		
24	土			
25	日			
26	月			
27	火		門出小学校訪問(滝)15:30	*WISC-IIIミニ実技講習(多目)13:00～
28	水	研・学校事務研修「教育予算編成の流れ」15:00～		
29	木			*学校教育課会議(多目・一研)終日
30	金	科・冬の星空観察会(博物館)19:00～20:30 相・いろいろ体験グループ(中学②)18:30～		*学校教育課会議(多目・一研)終日
31	土			
☆今月の催し☆ 1/30 冬の星空観察会(博物館)19:00～20:30			研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム ラ・視聴覚ライブラリー 情・情報教育研修 (滝)・滝澤学校訪問相談員 (寺)・寺瀬学校訪問相談員 出・出張 *・センター施設貸出	

教育センター事業の参加・利用状況(先月末)

	研 修 講 座 ・ 事 業 名		11月の 利用数	先月までの 利用合計数	19年度の 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座　＊		3回	42回	40回	
			80人	1,164人	1,365人	
	共催研修、研修講座		1回	7回		
			93人	455人		
	学校の要請研修会		0回	0回	1回	
			0人	0人	1人	
	調査研究員会,教科研修員会		2回	7回	11回	
			14人	38人	46人	
	教育情報化研修講座　＊		3回	33回	41回	
			11人	334人	277人	
	情報教育主事の要請支援等		19回	132回	109回	
250人			1,186人	1,017人		
その他の相談・利用・参加数		1回	2回	44回		
		72人	90人	54人		
教科書センター利用閲覧数		1人	317人	252人		
科学 技術 教育 班	理科研修講座　＊		1回	23回	16回	
			9人	270人	133人	
	学校等の要請研修		3回	16回	21回	
			67人	459人	791人	
	地域の自然研修・観察会		1回	10回	8回	
			58人	399人	367人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		1,500人	7,337人	4,600人	
	理科教育の相談・支援		32件	406件	263件	
理科教材・物品の貸出		17件	153件	115件		
(教職員研修の合計)		55人	726人	462人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談		新規相談件数	21件	184件	227件
			のべ相談件数	53件	540件	649件
	学校訪問相談		14回	72回	138回	
	家庭訪問相談		訪問対象者数	4回	30回	49回
			訪問のべ人数	10人	106人	17人
	電話相談		2件	15件	32件	
	ソーシャルスキルトレーニング		5回	30回	42回	
			26人	166人	218人	
	ふれあいルーム在籍人数		小学生	2人	12人	15人
			中学生	13人	106人	177人
	ふれあいルーム通級日数		18日	130日	192日	
	ふれあいルーム通級のべ人数		小学生	3人	77人	
			中学生	114人	909人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		1人	13人	16人		
視 聴 覚 ラ イ ブ ラ リ	16ミリフィルムの貸し出し		11本	100本	131本	
	ビデオテープ・DVDの貸し出し		22本	263本	369本	
	視聴覚機材の貸し出し		101台	603台	706台	
	編集,借用,相談等の来室者		114人	717人	929人	
	機器操作研修会		20人	52人	62人	
	親子映写会・児童クラブ映写会		0人	20人	100人	
教育団体，ＰＴＡ，市民等の利用			313人	1,882人	3,842人	
教育センター事業の参加・利用総数			3,028	18,314	16,896	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも、ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から、情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。



945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31

柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610